

# 協働の まちづくり オールスター ミーティング



令和6年1月27日（土）に第4回「協働のまちづくりオールスターミーティング」を開催しました。犬山に住む人、犬山で働く人、犬山で活動する人、犬山の学校に通う学生など、犬山のまちづくりに関わる17名の市民が集まり、活発な対話が行われました。

最終回となる今回は、これまでの3回の対話から見えてきたものについて振り返り、「プロアクションカフェ」という手法を使って、次の5年に向けた対話を行いました。締めくくりには全員でチェックアウトを行い、今後のまちづくりに向けた、一人ひとりの小さな一歩を約束し合いました。

## 第4回のテーマ

# まとめ～今後のまちづくりに向けて～

◎これまでの話し合いを振り返り、気づいたことを出し合おう！

R6 1/27（土）  
犬山市役所 2階  
201～203会議室

### 1 はじめのあいさつ

### 2 前回のふりかえり&

#### これまでの3回から見えてきたもの

まずは、このワークショップが協働のまちづくり基本条例で規定している「5年毎の条例の見直し」をきっかけとしている経緯についておさらいしました。

そして、第1回から第3回までの議論を振り返ると、基本条例の第17条「協働の推進」で示されている方向性とぴったり！条文の見直しよりも、今の条例に基づいた具体的な取り組みが必要であることを参加者と確認しました。

### 《プログラム》

- 1.はじめのあいさつ
- 2.前回のふりかえり& これまでの3回から見えてきたもの/事務局より
- 3.プロアクションカフェ「次の5年へ」
- 4.ティーブレイク
- 5.収穫の分かち合い/テーブルホストから
- 6.チェックアウト
- 7.おわりのあいさつ

#### 第1回

##### 「数字で知る犬山の5年」

➡ コロナ禍⇒活動の復活・ICT化の一方で情報不足、つながりの減少...

#### 第2回

##### 「次世代の参加したい！を促すには？」

➡ 次世代につなぐための柔軟な考え方、機会や場は意外と少ない！？

#### 第3回

##### 「自発的なまちづくりが進むには？」

➡ 自分たちの興味や「やりたい！」を共有することがまちづくりにつながる！

（協働の推進）

第17条 市民、議会、行政は、積極的に協働してまちづくりを推進します。

2 市民、議会、行政は、まちづくりに関する情報を広く発信するとともに、相互に交流する機会を設けます。

3 市民、議会、行政は、将来のまちづくりを担う人材の発掘や育成に努めます。

4 行政は、協働のまちづくりを推進するため、市民が自立し、協力して活動するための仕組みを整えます。

条文の見直しより、具体的な取り組みが必要！

↓  
次の5年、どうして？

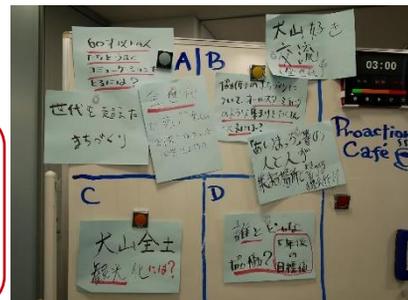


### 3 プロアクションカフェ「次の5年へ」

これまでの3回から見えてきた「条例に基づいた具体的な取り組みが必要」という課題に対して、どんな一歩が踏み出せるかを考えました。テーマは当日の参加者から募集！テーマを出した人がテーブルホストとなり、エレガントでミニマムな最初の一歩を深堀りしました。

#### ○プロアクションカフェとは

これまでの気づきをまとめ上げ、日常に戻ったの「次の一歩」を明確にするときに利用される方法論の一つ。



テーブルホスト以外のメンバーをシャッフルしながら、それぞれのテーマについて話し合いました。



## 4 ティーブレイク

## 5 収穫のわかちあい/テーブルホストから

A: 全世代で良いコミュニケーションを取るには?  
(テーブルホスト: なんやまさん)



♪コミュニケーションには笑顔が大事。  
→スマイルはブライスレス!  
♪場数を踏むと、敬語を使う、相手の話をきちんと聞く、話を上手に持っていく技などが身につく  
♪世代間で考え方は意外と変わらない  
→決めつけず、優しい目でみる  
♪自分の個性もデータ化した“詳しい名刺”を作ると好きなことで共感できる

B: 人と人が集まる場と機会をたくさん作るには?  
(テーブルホスト: ゆきさん)



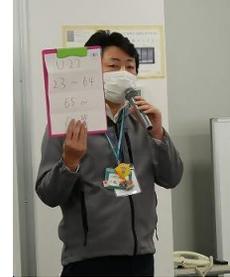
☆コミュニケーションは「違いを認めること」。受け入れないと交流が進まない。  
☆人を集めるための声掛けが大事  
→広報の手段は多様(広報誌、SNSなど)  
☆リアルで話すために、餅つきや運動会などの体験の場を設定、コミュニティカフェを市内に常設しては?  
☆まず、実行委員でオールスターミーティングを継続して、対話の場をつくる

C: 犬山全土を観光化するには?  
(テーブルホスト: くみこさん)



◎“気持ち”と“経済面”の2つが大切  
◎市民全員観光大使化!  
→ホスピタリティを持って生活することで、愛着醸成&産業として成り立つ  
◎名所がない地区は、名物でPR!  
→地産地消カフェ、手作り品の販売など  
◎犬山産の竹を使って竹あかりをつくり、市内各地で分散して開催する  
→観光イベントがあちこちで生まれる

D: 誰とどんな協働? 5年後の目標値は?  
(テーブルホスト: コヅカさん)



▽部活だと他の学校との交流が盛んであるように、地域活動でも交流するには?  
→“地域イノベーション部”として部活化  
▽高校、大学、会社員、市内外の人も部活を作って多様な交流ができる  
▽各学校や会社の部員が集まって、世代間交流として座談会をやってもいいし、同世代で競い合ってもいい  
▽部員数の増加で5年後に成長が見れる

## 6 チェックアウト

最終回ということで、全員で輪になり、一人ずつこれまでの4回からの「気づき・学び」とこれからの「ちいさな約束」を発表しました。

### ちいさな約束

ここで出会った人に必ず挨拶をする/部活を起こす時に協力する/何かある時には一番に手を上げる/部活が出来たら参加する/犬山と関わり続ける/犬山好きをどんどん増やす/もっと犬山のことを知る/色々な人の意見を聞く機会を大切にする/まちづくりに関わり続ける/人を優しい目で見る/犬山を散策して対話の場にも参加する



TAKEZO

今日のヒットワードは「好き」です。人によって様々だと思いますが、嫌なこと、嫌いなことから何も生まれません。ちょっと好きなことを持ち寄って、重なりや共感が得られれば、柔らかく、スマイルに事が進みます。そのためには、みなさんからの気づきや学びにあったように、世代などのバイアスを取り除いて、決めつけないことが大事だと思います。

全4回、多くの方にご参加いただきありがとうございました!  
これから協働のまちづくりに向けて、それぞれの好き、得意を持ち寄って、ステキなまちをつくっていきましょう~

問合せ 犬山市役所 地域協働課  
TEL 0568-44-0349 FAX 0568-44-0367  
E-mail 010410@city.inuyama.lg.jp